**注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。**

様式７

（レアメタルリサイクル賞）

**２社以上の連名で申請する場合は、本頁を各社ごとに作成ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

秘

　　資源循環技術・システム表彰　レアメタルリサイクル賞　申請書

　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな）①会社名又は事業所名 |  （印） |
| ②〒、所在地、電話番号 |  |
| （ふりがな）③代表者　役職、氏名 |  　 （印） |
| ④資本金又は基本財産 |  百万円 |  ⑤従業員数 |  人 |  ⑥出荷額 |  　　　 百万円／年 |
| （ふりがな）⑦連絡者　所属部署、役職、氏名、住所、電話番号、ＦＡＸ番号、〒、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 　　　　　　　　　　　　　　　　電 話　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　　　　　　　　　　　　　　　　 E-mail 〒、住所（*②の〒所在地と同じ場合は省略可*） |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）（申請内容を端的に表現）【事業の段階】 | 【*注）要素技術開発、パイロット試験、実証実験、商業的事業のいずれかを記入*】 |
| ⑨対象レアメタル名（鉱種） |  | ⑩対象製品名（申請事業における処理対象物。コンプレッサ等。） |  |
| ⑪回収品の名称*（申請事業の処理の結果得られたもの。ネオジム磁石、ネオジム等。）* |  | ⑫対象製品における回収品の含有量 | g／台、％等 |
| ⑬対象製品⑩の処理量（又は試験量） | Kg、ｔ等 | ⑭回収品⑪の回収量、品位*（不純物を含有の場合）* | Kg、ｔ、品位％等 |
| ⑮リサイクル試験、事業等の開始年月 |  | ⑯リサイクル試験、事業等の継続年数 |  |
| ⑰国等による補助事業の名称、補助者、補助金額*（ない場合には、なしと記述）* | 名称、年度：補助者：補助金額：　　　　　　　　万円 |
| ⑱本制度に係る過去の表彰実績*（受賞年度、賞の種類*） |  | ⑲他の制度による　過去の表彰実績（制度名称、年度） |  |
| ⑳所属団体名 |  | 本表彰の募集を何 　で知りましたか *（具体的に）* |  |
| 申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  |

**注）本頁は、本文（２頁目以降）記述要領の説明です。**

**以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。**

**該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。**

**また、追加項目があれば、追加ください。**

**本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

**本文の構成**

１．要旨

２．対象となる使用済製品等

３．従来の処理方法

４．リサイクル事業（又は要素技術開発、パイロット試験、実証実験等）の実施内容

（２社以上の連名の場合は、各社の役割分担が判るように記述）

 (1) 事業の狙い、目的等

 (2) リサイクル工程

注）フローシート、図絵等を用いてわかりやすく説明

　(3) 使用済製品の投入量、回収品の回収量・品位・特徴等

　(4) 技術・システムの内容、ポイント、新規性、同種事業との相違点（改善点）

注）図絵等を用いてわかりやすく説明）　**⇒　重要**

　(5) 特許等の有無

　(6) 保有設備の性能等

　(7) リサイクル事業の収益性

注）要素技術開発、パイロット試験、実証実験等の場合は得られた結果に基づいた実機時のコスト評価。

５．リサイクル事業（又は要素技術開発、パイロット試験、実証実験等）実施による効果

６．リサイクル製品の市場性

　(1) リサイクル製品の品質

　(2) 天然原料製品との比較

　(3) リサイクル製品の販売方法

　　　注）要素技術開発、パイロット試験、実証実験の場合は見通し

７．使用済製品等の収集・調達方法

　(1) 収集・調達方法、ルート

　(2) 安定確保策

注）要素技術開発、パイロット試験、実証実験の場合は見通し

８．二次公害防止のための対策

　(1) 二次廃棄物の発生・処理・処分状況

　(2) 二次公害防止のための対策

注）要素技術開発、パイロット試験、実証実験の場合は見通し

９．今後の動向

(1) 事業運営上の問題点と対応策

(2) 将来構想